

## 古代近東の契約・誓約・条約

—「エサルハドン誓約文書」を中心に—

渡辺和子（東洋英和女学院大学）

はじめに

- I. 「契約」「誓約」「条約」
- II. 古代近東の「条約」の研究  
コロシェツ（1931）による分類・・・「宗主権条約」と「対等条約」。
- III. 『聖書』の「契約形式」の研究  
メンデンホール（1954）の研究。
- IV. 「エサルハドン宗主権条約」（“The Vassal-Treaties of Esarhaddon”）672 BC  
1995年ニムルドで発見（9部、メディアの町長たち）。1958年D. J. ワイズマンの出版。  
ヒッタイトの「宗主権条約」をモデルとする。「祝福と呪い」、「申命記」との共通性。  
紀元前13世紀ではなく、紀元前7世紀の「宗主権条約」がある！？
- V. 「宗主権条約」ではなく「誓約文書」  
王位継承の定め順守・・・皇太子アッシュルバニパルとシャマシュ・シュム・ウキン
- VI. 「エサルハドン誓約文書」の構成  
新アッシリア時代の法的文書の形式。はじめに誰の印章が押されるかの説明。  
「一人称の誓い」の部分がある。二人称の「脅し」と呪い。
- VII. 誓約の表現法  
誓いは自己呪詛。条件説と後続文。未来についての誓約、過去についての証言。  
参照：「ヨブ記」31章・・・「証言と自己呪詛」。
- VIII. 「呪い」の言葉の比較  
周辺世界の呪いの言葉を集める
- IX. 神による調印  
法的行為者としての神々・・・証人としての神、調印する神。  
「呪い」の言葉がつけられた「土地授与文書」、「契約」。
- X. 神アッシュルとアッシリアの特殊性  
アッシリアにおける神アッシュルの圧倒的優位・・・土地アッシュルの神格化。  
土地アッシュル=神アッシュル、町アッシュル（アッシュル市）、国アッシュル（アッシリア）。アッシリアは、大小の国々が興亡を繰り返した古代オリエント世界の真ん中  
にあって1400年継続した。

おわりに

古代オリエントの情報が増えたために、改めて広い視野での比較が必要。

参考文献

- 大貫良夫・前川和也・渡辺和子・屋形禎亮 1998: 『世界の歴史 1 人類の起原と古代オリエント』中央公論社(文庫版 2009: 中央公論新社).
- 渡辺和子 1980: 「申命記法の編集」『聖書学論集』15、山本書店 pp.5-43.
- 1985: 「『エサルハドン宗主権条約』における神アッシュルの三つの印」宗教史学研究所編『聖書とオリエント世界』山本書店 pp.253-275.
- 1987: 「『エサルハドン宗主権条約』再考」『宗教研究』273, pp.113-133.
- 1991: 「古代メソポタミアにおける誓いの表現」『宗教研究』291, pp.114-116.
- 1992: 「古代オリエントの誓約と神の印章」脇本平也・柳川啓一編『現代宗教学 第4巻 権威の構築と破壊』東京大学出版会 pp.85-114.
- 1996: 「前1千年紀のメソポタミア」月本昭男・小林稔編『現代聖書講座 第1巻 聖書の風土・歴史・社会』日本基督教団出版局 pp.109-120.
- 1998: 「アッシリアの自己同一性と異文化理解」前川和也他『岩波講座 世界歴史 2 オリエント世界 —7世紀』岩波書店 1998年 pp.271-300.
- Korošec, V. 1931: *Hethitische Staatsverträge zu ihrer juristischen Wertung*, Leipzig.
- Mendenhall, G. E. 1954: „Covenant Forms in Israelite Tradition,“ *Biblical Archaeologist* 17, pp.50-76.
- Parpola, Simo/ Watanabe, Kazuko 1988: *Neo-Assyrian Treaties and Loyalty Oaths*, State Archives of Assyria II, Helsinki University Press, Helsinki.
- Owen, David I./ Watanabe, Kazuko 1983: "Eine neubabylonische Gartenkaufurkunde mit Flüchen aus dem Akzessionsjahr Asarhaddons," *Oriens Antiquus* 22, 1983, pp.37-48, Tf.I.
- Steymans, H. U. 2003: „Die neuassyrische Vertragsrhetorik der ‚Vassal Treaties of Esarhaddon‘ und das Deuteronomium,“ G. Braulik (ed.), *Das Deuteronomium*, Frankfurt am Main, pp.89-152.
- Watanabe, Kazuko 1984: "Die literarische Überlieferung eines babylonisch-assyrischen Fluchthemas mit Anrufung des Mondgottes Sin," *Acta Sumerologica [= ASJ]* 6, 1984, pp.99-119.
- 1985: "Die Siegelung der „Vasallenverträge Asarhaddons" durch den Gott Aššur," *Baghdader Mitteilungen [= BaM]* 16, 1985, pp.377-392, Tf.33.
- 1987: *Die adê-Vereidigung anlässlich der Thronfolgeregelung Asarhaddons*, *Baghdader Mitteilungen Beiheft* 3, Gebrüder Mann Verlag, Berlin 1987.
- 1988: "Die Anordnung der Kolumnen der VTE-Tafeln," *ASJ* 10, pp.265-266.
- 1989: "Mit Gottessiegeln versehene hethitische 'Staatsverträge'," *ASJ* 11, pp.261-276.
- 1993: "Neuassyrische Siegellegenden," *Orient* 29, pp.109-137.
- 1999: "Seals of Neo-Assyrian Officials," Kazuko Watanabe (ed.), *Priests and Officials in the Ancient Near East*, C. Winter, Heidelberg, pp.313-366.
- Weinfeld, M. 1972: *Deuteronomy and Deuteronomistic School*, Oxford.
- Wiseman, D. J. 1958: „The Vassal-Treaties of Esarhaddon,“ *Iraq* 20, pp.1-99, pls.1-53; pls.I-XII.